

2023年5月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月14日

上場会社名 株式会社ミモナ

上場取引所 東

コード番号 7117

URL <https://mimona.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名）池田 道夫

問合せ先責任者（役職名） 取締役財務経理部長（氏名）桑野 光生

TEL 0736 (25) 6639

定時株主総会開催予定日 2023年8月28日

配当支払開始予定日

-

発行情報提出予定日 2023年8月28日

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2023年5月期の連結業績（2022年6月1日～2023年5月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期	4,226	17.9	558	11.4	574	12.2	390	13.0
2022年5月期	3,583	-	501	-	511	-	345	-

（注）包括利益 2023年5月期 390百万円（13.0％） 2022年5月期 345百万円（-％）

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年5月期	1,301.25	-	42.6	29.0	13.2
2022年5月期	1,151.59	-	47.9	28.7	14.0

（参考）持分法投資損益 2023年5月期 -百万円（-％） 2022年5月期 -百万円（-％）

（注）2022年5月期より連結財務諸表を作成しているため、2022年5月期の対前期増減率については記載していません。また、2022年5月期の自己資本当期純利益率及び総資産経常利益率は、連結初年度のため、それぞれ期末自己資本及び期末総資産額に基づいて算定しております。

また、当社は2022年10月15日付で普通株式1株につき1,500株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年5月期	2,183	1,110	50.9	3,703.25
2022年5月期	1,779	720	40.5	2,402.00

（参考）自己資本 2023年5月期 1,110百万円 2022年5月期 720百万円

当社は、2022年10月15日付で普通株式1株につき1,500株の割合で株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年5月期	356	△130	△21	588
2022年5月期	82	△42	186	367

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額（合計）	配当性向（連結）	純資産配当率（連結）
	中間	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年5月期	0.00	0.00	0.00	-	-	-
2023年5月期	0.00	0.00	0.00	-	-	-
2024年5月期（予想）	0.00	0.00	0.00	-	-	-

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	3,694	△12.6	284	△49.1	281	△51.0	185	△52.4	619円36銭

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年5月期	300,000株	2022年5月期	300,000株
2023年5月期	-株	2022年5月期	-株
2023年5月期	300,000株	2022年5月期	300,000株

(注) 当社は、2022年10月15日付で普通株式1株につき1,500株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の解除、また2023年5月より新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に引き下げられ、旅行等の人の移動が活発になってきていることなどにより、国内の経済活動は徐々に再開に向かっております。世界経済においては、米国の金融機関の破綻やロシアによるウクライナ侵攻が依然として継続していること、また、円相場が1ドル150円台まで値下がり、32年ぶりの円安水準を更新するなどの厳しい経済局面も見受けられますが、工業用製品事業に於いては新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける事なく、安定的に推移しました。

このような情勢の中、当社グループにおきましては、卸売の主力商品である「アウトドアスパイス ほりにし」が好調を維持しております。また、2022年10月の「調味料選手権2022」で総合1位を獲得など、メディアにも多数取り上げられており、今後の市場拡大を見込んでおります。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は4,226,151千円(前年同期比17.9%増)、営業利益は558,598千円(同11.4%増)、経常利益は574,188千円(同12.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は390,375千円(同13.0%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① アウトドアスポーツ事業

アウトドア関連商品の好調により、当事業の売上高は4,019,528千円(前年同期比17.6%増)、営業利益は496,509千円(同13.8%増)となりました。

② 工業用製品事業

安定的なセキュリティインク需要により当事業の売上高は221,559千円(前年同期比24.0%増)、営業利益は62,089千円(同4.4%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は2,183,828千円となり、前連結会計年度末に比べ404,395千円増加しました。流動資産は1,822,857千円となり、前連結会計年度末と比べ305,783千円増加しました。これは主に、現金及び預金が247,196千円、受取手形及び売掛金が110,976千円増加したことによるものであります。固定資産は360,971千円となり、前連結会計年度末と比べ98,612千円増加しました。これは主に、有形固定資産が91,731千円、繰延税金資産が13,164千円増加したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は1,072,851千円となり、前連結会計年度末に比べ14,020千円増加しました。流動負債は921,154千円となり、前連結会計年度末と比べ34,646千円増加しました。これは主に、買掛金が32,589千円、短期借入金が38,178千円増加し、1年内返済予定の長期借入金が34,026千円減少したことによるものであります。固定負債は151,696千円となり、前連結会計年度末と比べ20,626千円減少しました。これは主に、長期借入金24,514千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は1,110,977千円となり、前連結会計年度末に比べ390,375千円増加しました。これは親会社株主に帰属する当期純利益390,375千円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は588,551千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は356,211千円（前年同期比333.1%増）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益580,375千円、売上債権の増加額110,976千円、棚卸資産の減少額40,031千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は130,947千円（前年同期比207.2%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出134,623千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は21,222千円（前年同期は186,876千円の獲得）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額38,178千円、長期借入れによる収入93,500千円、長期借入金の返済による支出152,040千円によるものであります。

（4）今後の見通し

我が国における今後の経済情勢につきましては、景気を持ち直しは当面続くとみていますが、海外景気の一段の減速で国内の経済成長はいったん鈍化し、その後は海外景気を持ち直しとともに成長ペースは回復すると見込んでいます。国内の物価については、原材料費の高騰などコストプッシュ圧力が緩和するとみており、基調的に鈍化する見通しではありますが、電気料金、人件費の高騰など、依然として厳しい環境が続くと予想されます。

このような状況の下、当社グループはアウトドア・スポーツ事業を基盤とし、あらゆる分野へチャレンジするとともにグループのシナジーを高めてまいります。

主力商品である「アウトドアスパイスほりにしシリーズ」を軸に、独自性のある優れた商品の企画や開発、また、メディアへの積極的な露出展開を目論み売上高の増加に努めてまいります。

また、店舗スタッフの専門性・販売力をより向上させ、他の競業店舗との差別化を図り、お客様により一層満足いただける店舗を構築してまいります。さらにデジタル領域におきましても、成長し続けるEC市場への対応を最優先に取り組んでまいります。

なお、ロシア・ウクライナ問題に伴う当社グループへの直接的な影響はほぼないと想定しておりますが、円安影響含め、調達コストや商品内容を見直すなど適正な対応を行ってまいります。

以上をふまえ、次期の連結業績予想につきましては、売上高3,694百万円（前年同期比12.6%減）、営業利益284百万円（前年同期比49.1%減）、経常利益281百万円（前年同期比51.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益185百万円（前年同期比52.4%減）を予想しております。

上記の予想は、本資料発表日現在に入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の状況等によって実際の業績は予想された内容から変動する可能性があります。業績予想の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準により連結財務諸表を作成しております。将来の国際会計基準（IFRS）適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当連結会計年度 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	427,975	675,172
受取手形及び売掛金	244,952	355,929
商品及び製品	795,885	758,667
仕掛品	189	263
原材料及び貯蔵品	13,459	10,571
その他	47,920	36,663
貸倒引当金	△13,309	△14,410
流動資産合計	1,517,074	1,822,857
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	90,111	94,490
土地	69,684	169,032
その他	87,707	64,305
減価償却累計額	△110,653	△99,247
有形固定資産合計	136,848	228,580
無形固定資産		
ソフトウェア	10,004	7,073
無形固定資産合計	10,004	7,073
投資その他の資産		
繰延税金資産	44,513	57,677
その他	70,991	67,639
投資その他の資産合計	115,504	125,317
固定資産合計	262,358	360,971
資産合計	1,779,432	2,183,828

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当連結会計年度 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	119,834	152,424
短期借入金	380,000	418,178
1年内返済予定の長期借入金	148,920	114,894
未払法人税等	125,614	121,659
賞与引当金	1,417	2,299
その他	110,721	111,698
流動負債合計	886,508	921,154
固定負債		
長期借入金	169,094	144,580
退職給付に係る負債	2,404	2,687
その他	823	4,428
固定負債合計	172,322	151,696
負債合計	1,058,830	1,072,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
利益剰余金	710,602	1,100,977
株主資本合計	720,602	1,110,977
純資産合計	720,602	1,110,977
負債純資産合計	1,779,432	2,183,828

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
売上高	3,583,994	4,226,151
売上原価	2,059,973	2,556,114
売上総利益	1,524,020	1,670,037
販売費及び一般管理費	1,022,765	1,111,438
営業利益	501,255	558,598
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,576	999
ポイント失効益	8,380	-
為替差益	24	16,576
その他	4,422	2,757
営業外収益合計	15,403	20,332
営業外費用		
支払利息	4,425	4,600
手形譲渡損	618	133
その他	71	8
営業外費用合計	5,116	4,742
経常利益	511,542	574,188
特別利益		
固定資産売却益	-	24,356
特別利益合計	-	24,356
特別損失		
減損損失	-	18,169
特別損失合計	-	18,169
税金等調整前当期純利益	511,542	580,375
法人税、住民税及び事業税	163,950	203,164
法人税等調整額	2,114	△13,164
法人税等合計	166,065	189,999
当期純利益	345,477	390,375
親会社株主に帰属する当期純利益	345,477	390,375

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
当期純利益	345,477	390,375
包括利益	345,477	390,375
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	345,477	390,375

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)

(単位: 千円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	純資産合計
当期首残高	10,000	365,124	375,124	375,124
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益		345,477	345,477	345,477
当期変動額合計	-	345,477	345,477	345,477
当期末残高	10,000	710,602	720,602	720,602

当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

(単位: 千円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	純資産合計
当期首残高	10,000	710,602	720,602	720,602
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益		390,375	390,375	390,375
当期変動額合計	-	390,375	390,375	390,375
当期末残高	10,000	1,100,977	1,110,977	1,110,977

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	511,542	580,375
減価償却費	26,899	28,928
減損損失	-	18,169
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	339	1,101
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	271	283
賞与引当金の増減額 (△は減少)	708	882
受取利息及び受取配当金	△2,576	△999
支払利息	4,425	4,600
為替差損益 (△は益)	△58	△17,052
有形固定資産売却損益 (△は益)	-	△24,356
売上債権の増減額 (△は増加)	△97,325	△110,976
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△215,591	40,031
仕入債務の増減額 (△は減少)	△50,622	32,589
その他	6,539	13,354
小計	184,552	566,932
利息及び配当金の受取額	1,401	999
利息の支払額	△4,425	△4,600
法人税等の支払額	△99,277	△207,119
営業活動によるキャッシュ・フロー	82,251	356,211
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△25,800	△31,500
定期預金の払戻による収入	27,823	7,200
有形固定資産の取得による支出	△38,961	△134,623
有形固定資産の売却による収入	-	32,572
無形固定資産の取得による支出	△1,200	-
その他	△4,487	△4,595
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,625	△130,947
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	210,000	38,178
長期借入れによる収入	150,000	93,500
長期借入金の返済による支出	△171,146	△152,040
その他	△1,977	△860
財務活動によるキャッシュ・フロー	186,876	△21,222
現金及び現金同等物に係る換算差額	58	17,052
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	226,560	221,095
現金及び現金同等物の期首残高	132,200	367,455
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,694	-
現金及び現金同等物の期末残高	367,455	588,551

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、本社に商品・製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う商品・製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

(2) 各報告セグメントに属する商品・製品及びサービスの種類

「アウトドアスポーツ事業」は、主にEC販売、店舗販売及び卸売を行っております。

「工業用製品事業」は、主に海外からセキュリティインキ原料及び灌漑用資材（スプリンクラー等）を仕入れ、国内企業に卸売等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分析情報

前連結会計年度（自 2021年6月1日 至 2022年5月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	アウトドア スポーツ事業	工業用製品事業	計		
売上高					
eコマース	1,824,526	-	1,824,526	-	1,824,526
店舗運営	775,063	-	775,063	-	775,063
卸売	726,343	178,643	904,987	-	904,987
その他	79,417	-	79,417	-	79,417
顧客との契約から生じる収益	3,405,350	178,643	3,583,994	-	3,583,994
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	3,405,350	178,643	3,583,994	-	3,583,994
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,150	-	13,150	△13,150	-
計	3,418,501	178,643	3,597,145	△13,150	3,583,994
セグメント利益	436,331	64,923	501,255	-	501,255
セグメント資産	1,228,985	77,908	1,306,893	472,539	1,779,432
その他の項目					
減価償却費	26,569	330	26,899	-	26,899
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	41,596	1,326	42,922	-	42,922

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額472,539千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産であります。なお、全社資産は主に当社の余剰運用資金（現金及び預金）及び管理部門に係る資産であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2022年6月1日 至 2023年5月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	アウトドア スポーツ事業	工業用製品事業	計		
売上高					
eコマース	1,822,458	-	1,822,458	-	1,822,458
店舗運営	588,514	-	588,514	-	588,514
卸売	1,524,619	221,559	1,746,179	-	1,746,179
その他	68,997	-	68,997	-	68,997
顧客との契約から生じる収益	4,004,591	221,559	4,226,151	-	4,226,151
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	4,004,591	221,559	4,226,151	-	4,226,151
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,937	-	14,937	△14,937	-
計	4,019,528	221,559	4,241,088	△14,937	4,226,151
セグメント利益	496,509	62,089	558,598	-	558,598
セグメント資産	1,359,359	91,559	1,450,918	732,910	2,183,828
その他の項目					
減価償却費	28,586	341	28,928	-	28,928
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	148,623	-	148,623	-	148,623

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額732,910千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産であります。なお、全社資産は主に当社の余剰運用資金（現金及び預金）及び管理部門に係る資産であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
1株当たり純資産額	2,402 円 00 銭	3,703 円 25 銭
1株当たり当期純利益	1,151 円 59 銭	1,301 円 25 銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 2022年10月15日付で普通株式1株につき1,500株の株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり純資産額」及び「1株当たり当期純利益」を算定しております。

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	345,477	390,375
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 （千円）	345,477	390,375
普通株式の期中平均株式数（株）	300,000	300,000

(重要な後発事象)

該当事項はありません。